令和7年度指定管理者モニタリング外部評価結果

施設名	関市文化会館						
	1						
選定方法	公募						
外部評価							
4	優れている						
	•						
- J. L							

コメント

- ・施設利用とカフェ利用の連携が、さらに図られるとよい。・アンケートで寄せられた意見や提案を積極的に取り入れるとよい。
- ・安定した利用者数が得られ、利用率の目標も達成されており、利用者の視点に立った使いやす い環境が整備されている。

令和6年度 指定管理者モニタリング結果票

			1-16-144 1846 H - H - A A - A 18414414				
施	設	名	関市文化会館				
所	在	地	関市桜本町2丁目30番地1				
指定	定管理	里者	株式会社トヨタエンタプライズ				
担 当 部 課 協働推進部文化課		課	協働推進部文化課				
指:	定期	間	令和5年4月1日~令和10年3月31日				

1 総合評価

関市文化会館は、地域文化の振興拠点として多種多様な団体へ活動場所を提供し、地域住民に文化を身近に感じてもらう機会を創出している。トヨタグループの一員として、その経営資源とノウハウを活かし、経理、点検、安全管理において高い水準を維持している。経費削減や収入増加にも努め、経営状況は改善傾向にある。利用者アンケートを基にしたサービス改善や、地域ニーズに合わせたイベント企画など、顧客満足度向上への取り組みも評価できる。

2 合目的性・公平性・効果性(施設の目的との合致、市民の平等利用の確保、施設の効用発揮)

市民団体等の発表の場、市民の芸術文化鑑賞の場として、幅広い年齢層に利用され、地域文化活動の拠点として広く親しまれている。貸館運営においては、市内在住者を優先的に受け付けることで、地域住民への貢献を重視している。また、初めて利用する団体に対しては、電話照会や窓口受付時に施設の目的外使用(営利目的等)でないかを確認することで、施設の目的との整合性を確保している。利用にあたっては、市民が平等に施設を利用できるよう、公平性を確保した運営に努めている。

3 機能性・独創性(事業への具体的な取組方)

施設運営においては、オンライン予約システムの利用促進による業務効率化を図るとともに、貸し会議室の広さやイメージなど視覚的にわかるような施設案内板を作製し、利用者への利便性向上に寄与している。イベント企画においては、中濃地域の団体が出演するダンスイベントを開催し、地域文化の多様性を発信することで、他施設との差別化を図っている。さらに、利用者ニーズの把握においては、アンケート調査を実施し、得られた情報を基に、共用スペースの装飾やBGMの放送、フォトスポットの設置など、細部にわたるサービス改善を実施している。

4 責任性・実効性(施設の運営体制・組織)

正規職員3名とパート17名の交代勤務体制により、貸館、施設整備、清掃の各業務について円滑な運営がされている。また、夜間勤務や公演時などには、必要に応じ柔軟に対応している。

5 安定性・安全性(管理の安定性と安全管理、緊急時等での対応)

老朽化が進む施設であるため、定期点検・日常点検を的確に実施している。修繕箇所の早期発見に努め、利用者の安心安全の確保に努めている。喫茶店の殺菌、消毒など衛生面には特に配慮されている。また災害発生時への対応マニュアルや訓練なども実施されている。

|6 社会性・貢献性(地域への貢献、環境への配慮等)

関市文化会館は地域文化の振興拠点として、様々な団体へ活動場所を提供し、地域住民が気軽に文化に触れられる機会を創出している。また、環境美化ボランティア活動へも積極的に参加することで、地域環境の保全にも貢献している。

7 効率性・経済性(経費の縮減と収入の増加対策)

委託保守会社等との契約交渉を行い、料金の引き下げに成功したほか、冷暖房などのエネルギー消費に関しても、こまめな省エネ運転を徹底することで、経費削減を実現している。また、自主事業を実施し来場者と収入の増加を図っている。

8 経営の健全性

エネルギーの省エネ運転等の経費削減努力により、黒字経営を維持しており、健全であると評価できる。利益率は1年目に2.8%、2年目に5%と増加傾向にあり、経営状況は改善傾向にある。ただし、喫茶店経営の収支が赤字となっている点は、今後の課題である。入館者数は、コロナ禍以前の12万人と比較して、令和5年には75,000人、令和6年には70,000人と減少傾向にある。

9 課題・業務改善への考え方

喫茶店の収支改善や入館者数増加といった課題に対し、経営改善と集客力向上に向けた取り組みを積極的に行っている。利用者アンケートの結果をサービスに反映させ、地域ニーズに合わせたイベント企画などを実施し、顧客満足度の向上に努めている。また、同じ指定管理者が運営する近隣施設わかくさ・プラザとの連携を強化し、相互の強みを活かした相乗効果を発揮し、更なる地域貢献を目指されたい。

過去3か年の運営状況

施設名	関市文化会館			
指定管理者	株式会社トヨタエンタプライズ			
担当部署	協働推進部文化課			

		令和4年度	令和5年度		令和6年度
利用者数(人)		76,022	75,350		69,520
収入	収入額(円)	75,259,158	90,656,826		92,451,319
	うち市からの指定管理料(円)	73,555,000	86,000,000		86,000,000
	他の主な収入内容	指定管理料	指定管理料		指定管理料
	使用料の受入先	指定管理者			
	(どちらかに〇)	市	0		
支出	支出額(円)	73,653,662	88,083,205		87,859,951
	主な支出内容	維持管理経費	維持管理経費		維持管理経費
差引	差引(円)	1,605,496		2,573,621	4,591,368
	損益の処理方法	指定管理者	0		
	(どちらかに〇)	その他(具体的に)		()
職員数	職員数(人)	12		18	20
	内パート等の人数(人)	3	15		17